



Title	臨床哲学のメチエ 第7号 表紙・目次
Author(s)	
Citation	臨床哲学のメチエ. 2000, 7
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/21785">https://hdl.handle.net/11094/21785</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 臨床哲学のメチエ

臨床の知のネットワークのために

Vol.7 2000秋冬合併号

## 特集1 ソクラティク・ダイアローグ in ヨーロッパ

ソクラティク・ダイアローグ 森芳周訳 4

「拝啓、ソクラテス者のみなさま」 寺田俊郎 20

## 特集2 ソクラティク・ダイアローグの「臨床哲学的展開」

共同的思考の産物と効果——神戸市看護大学でのワークショップから 堀江 剛 24

「責任とは、他人の突然の出現である。」——あるダイアローグの記録 31

「言葉」を行うこと 大北全俊 52

《資料》ダイアローグを営むためのいくつかの決めごと 54

街角の哲学——臨床哲学カフェ&バー報告 桑原英之 56

臨床哲学の余白 58

# 総特集 ソクラテック・ダイアローグ



99年、私たち臨床哲学研究室のメンバーは、イギリスで開かれた「ソクラテック・ダイアローグ」のワークショップに初めて参加し、その面白さを身をもって味わうとともに、それをヨーロッパの様々な場所・機会で精力的に展開している人たちに大いに触発された。2000年夏にドイツで開催された第3回ソクラテック・ダイアローグ国際学会では、このグループ討議の方法を組織的に実施・探求している団体を中心に、ソクラテック・ダイアローグに関わる様々な人々と知り合い、多くの情報を入手することができた。

今回のメチエはページを大幅に増やし、このソクラテック・ダイアローグに関する情報をまとめて紹介する。

特集1では、ヨーロッパにおけるソクラテック・ダイアローグの活動に関する資料や報告を行う。特集2では、私たち臨床哲学研究室が試みているソクラテック・ダイアローグの模様を紹介するとともに、それに対する若干の考察を加えることにする。